

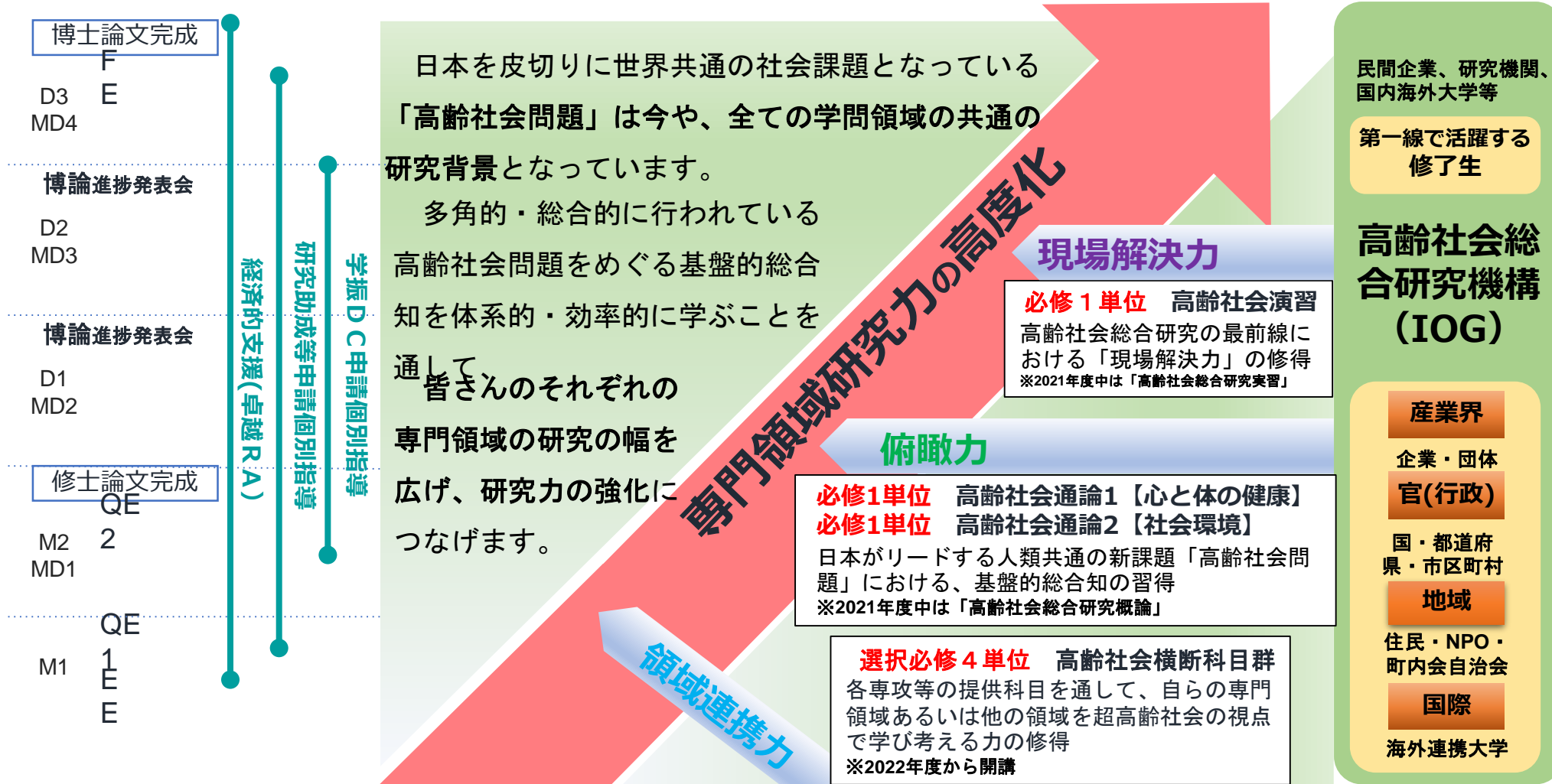
2023年度夏学期
WINGS-GLAFS
ガイダンス

230401

WINGS-GLAFS

高齢社会総合研究国際卓越大学院

日本がリードする人類共通の新課題「高齢社会問題」における基盤的総合知の習得・最前線での体験を通して自らの専門領域研究力の強化を図る。



(※ 本プログラムでは現在「参画専攻の拡大」を実施中のため、新たに参画専攻が上記に加えられることがありますので、最新情報はHPでご確認ください。)

工学系研究科全専攻・医学系研究科5専攻・人文社会系研究科1専攻・法学政治学研究科1専攻・農学生命科学研究科7専攻
教育学研究科2専攻・総合文化研究科1専攻・情報理工学系研究科1専攻・新領域創成科学研究科3専攻・学際情報学府1専攻

WINGS-GLAFSの修了要件

■単位の修得 合計：必修3単位+選択必修4単位

- ・ <必修> 高齢社会総合研究学通論1・2（1単位×2科目・2単位）
- ・ <必修> 高齢社会総合研究学演習（1単位×1科目・1単位以上）
- ・ <選択必修> 高齢社会横断科目群（4単位以上）
- ・ WINGS-GLAFS生（7期、8期）には、さかのぼり適用→取りすぎている単位は「読み替え」

■8月発表会、3月発表会における進捗発表（QEを兼ねる）

- ・ 修士課程学生：学修進捗発表会（修論の進捗状況+プログラムの履修状況）
- ・ 博士課程学生：博論進捗発表会（博論の進捗状況／合計5回の進捗発表と最終発表）

■学振（JSPS）のDC1,DC2への申請（これは、すべての履修生のマストです！！！！）

- ・ 修士2年4月：DC1への応募
- ・ 博士1,2年4月：DC2への応募（DC1獲得者は除く）

■必修 1単位+1単位

- 高齡社会通論1

【高齡者の体と心：老いとつきあう】（A1）（飯島）

- 高齡社会通論2

【高齡者を支える社会環境】（S2）（大月）

- 詳細は別紙シラバス参照（HPにも載せます）

高齢社会総合研究概論2 (WINGS-GLAFS必修講義) 2023年度 S2ターム 授業計画

単位数：1単位 時限：水曜5限 (16:50~18:35) 評価方法：毎回レポート提出 (毎回一週間後締切) (ITC-LMSで対応)

※4回以上の出席かつレポート提出がないと【未受験】となります。

責任教員：大月 敏雄

Zoomにて開講 (履修希望者はUTAS、ITC-LMS参照)

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/84744106333?pwd=S1ROSTFRMUlNWs4d1VnVGJQdHZNQQT09>

ミーティングID: 847 4410 6333

パスコード: 919101

●第1回6月7日 (水)

超高齢社会における住まいと地域／大月敏雄 (東京大学・工学系研究科)

●第2回6月14日 (水)

超高齢社会を地域で支える-IOGモデルのまちづくりとは／辻哲夫 (東京大学・高齢社会総合研究機構)

●第3回6月21日 (水)

超高齢社会における地域への介入／李ヨンゴン (東京大学・工学系研究科)

●第4回6月28日 (水)

Geron-Informatics／檜山敦 (東京大学・先端科学技術研究センター)

●第5回7月5日 (水)

高齢社会のハウジング-社会学の観点から／祐成保志 (東京大学・人文社会系研究科)

●第6回7月12日 (水)

高齢社会と成年後見制度／税所真也 (東京大学・人文社会系研究科)

●第7回7月19日 (水)

超高齢社会における外出環境／松田雄二 (東京大学・工学系研究科)

■選択必修 4 単位 高齢社会横断科目群

- ・ HPに掲載

- ・ 履修科目の自己申告

学期末ごとの成績確定後、案内を出しますので、履修完了科目の申告をお願いします。

- ・ なお、IOGとして開講する「特論」も、高齢社会横断科目群として、履修できます。

【特論4】 2単位・Aセメ・飯島・孫（医）

【特論5】 2単位・Aセメ・八木（農）

【特論6】 2単位・Aセメ・樋口（法）

【特論10】 2単位・Aセメ・二瓶・檜山（G-tech）

各講義のシラバスは、出来次第、HP・UTASで。

■必修 1 単位 高齢社会演習（通年）

- ・ 1単位=13P 1P≒1時間参加
- ・ 読み替え 既履修分のポイントのうち13Pを本単位に読み替え
13Pを超えた分に加えて、25Pに達するPを取得した場合「高齢社会横断科目群（旧実習科目として単位付与）」に読替（それ以上は読み替えしない）
- ・ 各演習プログラムの概要書に沿って、履修すること。
- ・ 履修が終わったら、専用のGoogleフォームにて、「GLAFS高齢社会演習日誌」を提出
- ・ 交通費など必要な経費の支出等は担当教員に尋ねる
- ・ 通論の履修を終了しなくても演習を履修できる

高齢社会演習

2023年度 プログラムNo. 2301

「フレイル予防」

■**担当教員**：飯島勝矢（未来ビジョン研究センター・教授）、孫輔卿（未来ビジョン研究センター・特任講師）
田中友規（高齢社会総合研究機構・特任助教）

■**概要**：

人生100歳時代を迎えて、高齢者が安心して住み慣れた地域で自分らしく生きるためには、「健康増進～フレイル（虚弱）予防」が重要であり、そのための地域での戦略的な展開が必要である。そのなか東大IOGでは地域住民主体のフレイルチェック活動を開発し、担い手であるフレイルサポーター（地域高齢者）を養成することで、参加高齢住民とともにフレイルの兆候に気づき、フレイル予防活動を持続的に行える地域プログラムを開発した。

2023年度のフレイル予防の演習は現在、進めている科学技術振興機構（JST）・未来社会創造事業（研究課題名：新価値‘IKIGAI’ 駆動による社会貢献活動の個人最適化）の一環として実施する。具体的には定例全体会に参加し、JST研究の目的である地域貢献活動の担い手（例：フレイルサポーター）が活動を通じて感じる生きがいを新価値IKIGAIの概念で再構築し、その人の行動情報から計測・定量化するプロセスを研究進捗報告で理解する。最終的には本研究の目標である地域活動を通じた生きがいの可視化、生きがい向上の介入策開発や新たな担い手の確保など超高齢社会の地域課題解決に挑戦する総合知（人文、情報理工、工学系、老年医学）の研究取組みに参加することで、自分の研究の考え方、分野横断連携の在り方を学ぶ。

4/1（土）15:00-16:30 (1.5h) 実習全体ガイダンス
4/11（火）15:30-18:30 (3h) フレイル予防実習ガイダンス＋JST-MIRAI全体会議
5/16（火）16:00-18:30 (2.5h) JST-MIRAI全体会議
6/6（火）16:00-18:30 (2.5h) JST-MIRAI全体会議
7/11（火）16:00-18:30 (2.5h) JST-MIRAI全体会議
日程調整中 地域在住高齢者との交流会（3h予定：現場体験）

■**留意事項**：

- ・上記プログラム出席希望者は必ずフレイル予防ガイダンスを受講すること（録画対応可）
- ・各全体会議への出席希望者は、（孫）son@iog.u-tokyo.ac.jpへ連絡すること。
- ・10名程度を1回の履修限度とする。

■担当教員：大月敏雄（工学系建築学専攻・教授）、李ヨンゴン（工学系建築学専攻・助教）

■概要：

八王子市めじろ台地区は 1970 年代から戸建て住宅を中心として開発された住宅地であるが、急激な高齢化が進行している。ポスト超高齢社会を見据えた根本的なまちづくりの計画と実践を目指して、地元自治会をベースに 2019 年に設立された「めじろ台まちづくり協議会」に外部支援者として参加し、住民と共にまちづくりを考え、実践する。

■日程（※予定なので、変更の可能性あり。ガイダンス受講者に、お知らせします）

<以下は2023年度 S セメスター入点分。>

5/28 日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
6/25 日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
7/23 日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会

<以下は2023年度 A セメスター入点分。>

8/27 日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
9/24 日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
10/29日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
11/26 日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
12/24日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
1/28日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
2/25日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
3/24日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
※2月、3月分は、翌年度Sセメスターに参入

■留意事項：

- ・レポートの提出は、協議会等の実施日から1週間以内。
- ・本プログラムに初めて参加する人は必ず「めじろ台ガイダンス（1時間：1P、録画）」を受講すること。なお、ガイダンス受講については、大月に連絡のこと。
- ・上記協議会の分科会等の形で実施される各種会合に参加した場合も、上記と同様にプログラムの対象とする場合があるが、その際は事前に大月に相談すること。
- ・Zoom か現地かのいずれかで実施予定。
- ・現地開催の場合、各自の交通費は、別途支給するので、この場合はすぐに大月に連絡すること。
- ・連絡先：（大月）bigmoon7505@gmail.com （李）lee.yonggeun@gmail.com

■**担当教員**：二瓶美里、菅原育子、藤崎万裕、三浦貴大、藪謙一郎、吉田涼子、吉崎れいな、カンスーイン、伊藤研一郎

■**概要**：

近年、高齢化社会に起因する社会的課題に対して、AIやIoTの利活用による課題解決に関心が向けられている。一方で、活力ある高齢者が増加するとともに高齢者の生活スタイルやニーズも多様化しているため、用途に特化したソリューションでは高齢者の生活を十分に支援できないことが明らかとなっている。そのため、高齢者が自律的に自身の課題解決に取り組める柔軟性を持った社会実装のあり方について検討する必要がある。本演習では、高齢者が直面する生活課題を解決するのに、高齢者が自律的なQoL向上を目指すことが可能な生活支援ICTシステムの社会実装の検討を行う。具体的な活動としては、①**高齢者の生活スタイルとニーズを理解するヒアリング調査などの活動**と、②**実証実験を通じた社会実装の検討の活動**である。AIやIoTのみならず、VRやメタバースなどの最先端のテクノロジーを活用した座学やプロジェクトの聴講などを演習の対象とする。具体的にはジェロントロジー・アカデミーのいくつかの講義や研究プロジェクトへの参画や、共創センターやVR教育研究センターの活動も一部含める。また、プログラムを主体として得られた調査結果は学生を主体として論文執筆・国際会議発表をサポートし、著者や発表者の活動もプログラムに含める。

■**日程**：

04/03	2000 – 2100 (1h)	G-techガイダンス@ライブラリ
04月	日程別途調整(3h)	模擬住居見学会@柏の葉・第二総合研究等
06月	日程別途調整(3h)	ライフログ・データ可視化予備実験
07月	日程別途調整(3h)	調査実験
08月	日程別途調整(3h)	調査・実験データ分析・論文執筆
09月	日程別途調整(3h)	秋学期まとめ・春学期計画の相談会議
日程別途調整	(3h)	ジェロントロジー・アカデミー『情報とシステム』
日程別途連絡	(3h)	ジェロントロジー・アカデミー『ジェロンテクノロジー』

■**留意事項**：

- ・上記プログラム出席希望者は必ずG-techガイダンスを受講すること（録画対応可）
- ・調査活動や実証実験の計画・準備会議（ライブラリ/zoom開催）などに参加すること
- ・日程が決まっていないところは、履修者と相談しながら決定予定
- ・交通費、研究活動経費は別途支給
- ・履修希望者は伊藤（k.ito@iog.u-tokyo.ac.jp）・吉崎（r.yoshizaki@mfg.t.u-tokyo.ac.jp）まで連絡をすること

高齢社会演習

2023年度 プログラムNo. 2304

「リビングラボ」

■担当教員：秋山弘子（高齢社会総合研究機構客員教授）、吉田涼子（高齢社会総合研究機構学術専門職員）

■概要：

リビングラボとは、生活の現場（住んでいる自宅、地域など）において、企画段階から住民を巻き込み、企業、自治体、大学、各種団体等が互いの強みを持ちより、生活者起点で暮らしを豊かにする製品やサービス、社会の仕組み等の新たな価値を共創する活動です。東京大学高齢社会総合研究機構は、鎌倉市、今泉台町内会、NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台、三井住友FG等と「鎌倉リビングラボ」を運営し、高齢社会の課題を解決するものやサービスを創り出す活動を行ってきました。

本実習では、大学・自治体・企業・組織等の約400団体900名が登録し、リビングラボに関する研究発表や意見交換、交流を行う「リビングラボ研究交流会」への参加機会を提供します。

その他、リビングラボに関するイベント、テストベッドにおけるワークショップやインタビュー等への参加機会も提供します。

■日程：

リビングラボ研究交流会は年2-3回開催を予定。日時が決まり次第メールにて告知。実施はオンラインまたは本郷キャンパス。

リビングラボイベントの開催日時は未定。日時が決まり次第メールにて告知。原則現地（鎌倉市内）での参加。

■留意事項：

- ・現地開催の場合、交通費は別途支給する。
- ・リビングラボ研究交流会への参加は上限なし。
- ・リビングラボイベントやテストベッドにおける活動は参加上限を設定する場合がある。
- ・告知・募集はhomeroom@iog.u-toko.ac.jpを経由して行う。問い合わせ先：吉田 (yoshida@iog.u-toko.ac.jp)



高齢社会演習

2023年度 プログラムNo. 2305

「ジェロントロジー・アカデミー共同研究」



■**担当教員**：飯島勝矢（未来ビジョン研究センター・教授）、辻哲夫（高齢社会共創センター・客員研究員）、田中友規（工学系・特任助教）、田中康夫（工学系・学術支援専門職員）、神谷哲朗（工学系・学術支援専門職員）、高瀬麻以（工学系・特任研究員）

■**概要**：

IOG が推進する東京大学ジェロントロジー産学連携プロジェクトのプログラムである、ジェロントロジー・アカデミー ジェロアカ が、企業人と研究者を繋ぎ、連携していくための双方向の連携の場として 2020 年度から設定された。本プログラムでは、ジェロアカへの参加を通して、ジェロントロジー研究が社会実装へ向けて応用されてゆくプロセスを体験的に理解する。

■**日程**：

別紙参照

■**参加方法**：

ジェロントロジーアカデミーのご担当（田中康夫様、井口様、葛谷様）より、homerom@にご案内があります。そこに記載してある方法に準じて申し込み・ご参加ください。

■**留意事項**：

- ・ 日誌の提出は、アカデミー終了後、Google Formからそれぞれ行ってください。 抜けがあった場合には、ポイントにカウントされませんので、お忘れなくお願いいたします。
- ・ 当日、都合により欠席の連絡が高瀬の方に(takase@iog.u-tokyo.ac.jp)あった場合にのみ、個別にフォローアップ配信を致します。

高齢社会演習

2023年度 プログラムNo. 2305

「ジェロントロジー・アカデミー共同研究」

■日程：

ジェロントロジー産学連携プロジェクト年間予定表（前期）

原則としてアカデミーは14-17時、サロンは15時-17時に開催

		共同研究	アカデミー	事業地視察会	サロン	アーカイブ勉強会	GLAFS講義参加	
4月	上旬							
	中旬	開講式(4月13日(木)14-17時					↑	
	下旬				21日(金)アクティブヘルス&ケア			
5月	上旬		11日(木)アカデミー1					
	中旬	事業地視察(まちづくり)						
	下旬		26日(金)アカデミー2			アカデミー動画		
6月	上旬		6日(火)アカデミー3			Youtube配信		
	中旬				21日(水)アクティブヘルス&ケア	↓	↑	
	下旬		29日(木)アカデミー4		企業紹介 1			
7月	上旬		4日(火)アカデミー5					
	中旬	事業地視察(地域包括ケア)						
	下旬		25日(火)アカデミー6				講義聴講	
8月	上旬		1日(火)アカデミー7					
	中旬				21日(月)アクティブヘルス&ケア			
	下旬		25日(金)アカデミー8					
9月	上旬							
	中旬				交流会 1			
	下旬	29日総括会						↓

※サロン(ライフデザイン)は原則毎月開催

演習日誌は、これまでのように、各教員にワードファイルをpdf化したものを送るのではなく、下記のようなGoogleフォームにて、各自提出のこと。このアドレス等は、追ってお知らせいたします。

質問 回答 設定



2023年度 夏学期 高齢社会演習 日誌

フォームの説明

氏名

記述式テキスト (短文回答)

+



📄

Tt







🖼️

▶

...

参加した演習を選んでください  プルダウン 

1. 2201 フレイル予防 (飯島・孫)	×
2. 2202 めじろ台 (大月)	×
3. 2203 Gtech (二瓶)	×
4. 2204 豊四季台 (高瀬)	×
5. 2205 住民参加型のオープンイノベーション鎌倉リビングラボ活動の実習 (秋山・吉田)	×
6. 2206 ジェロントロジー・アカデミー共同研究 (飯島)	×
7. 2207 Dr. Chou Special Lecture (特論IV)	×
8. 2208 Dr. Chou 豊四季台訪問のアテンド	×
9. 2209	×

**※本資料+シラバス+学生名簿+募集予告チラシ
は、別途、Googleドライブにアップして、案内します。**

■2023年度のスケジュール（予定）

●7月全体発表会（学修進捗発表＋博論進捗発表＋交流会）

7/22土 1000-1600（発表）1700-(交流会) 【発表人数によって変更する】

●2023年度履修生募集

募集説明会：8/2水 1600-1700

募集期間：9/11-20

●A学期新旧合同ガイダンス

9/30土 1400-1600（ガイダンス）1600（交流会+OB会）

●IARU国際交流会

10/16月～18水@東大

●3月全体発表会学修進捗発表＋博論進捗発表）

3/2土 1000-1500（発表）1700-(交流会)

●修了式